

令和５年度 学校関係者評価委員会は、委嘱を受けた三軒茶屋小学校の学校関係者評価委員として以下の内容を報告します。

令和6年2月20日
世田谷区立三軒茶屋小学校
学校関係者評価委員会委員長
池谷 恵美

学校関係者評価委員会報告

アンケート調査について

三軒茶屋小学校のキャッチフレーズ「みんな仲良し三茶小」の通り、授業や休み時間、異学年交流など様々な学校生活の中で、一人一人の児童が尊重しあい、元気いっぱいの子ども達を見ることができています。教育目標である「よく考える子ども・おもしろいのある子ども・体をきたえる子ども」をもとに、校長先生はじめ諸先生方の、心に響く一生懸命なご指導を受け、子どもたちは日々成長を遂げています。また、多くのこどもたちが、「学校が楽しい」「学校が好き」と思っているため、学校生活は充実しているとみられます。

コロナ禍から通常の状況にほぼ戻る中、集団生活での授業や行事、様々な取り組みにご尽力いただき、子どもたちを優しく見守り、ご指導いただきました。本当にありがとうございました。

今回のアンケート調査も主に、WEB回収でしたが保護者と地域の回収率がかなり高くなっております。保護者に関しては、学校からの連絡とPTAのご協力のもと、すぐるやLINE等を使い数回に分けて働きかけくださった効果であり、学校とPTAの協力体制の成果です。感謝致します。そのため、保護者の回答率が昨年度より50%近く高くなっております。また、子どもたちのアンケートの回収率が少ないのは、インフルエンザの流行で学級閉鎖が重なり、回答ができなかった児童が多かったためです。

回収小計と回収率

保護者	児童数414名に配布	回収297通	回収率72%
児童	5・6年151名	回収119名	実施率79%
地域	28名に配布	回収21通	回収率75%
教員	23名に配布	回収23通	回収率100%

アンケート結果に基づき期待する改善

今年度のアンケートの調査結果は、各項目ごとに分けられているため項目ごとの報告になります。

1. 学習について（児童・保護者）

児童の学習についての項目は、ほぼ90%以上の肯定的な数値を示している。特に「先生は課題に（めあて）について自分で考えたり、友達と考えたりする時間を授業の中で取っている」が92.5%「授業では、考えたことを話し合ったり発表し合ったり機会がある」が92.4%と90%以上の高い評価となっている。これは、昨年度と同様、自ら調べることで学びを深め友達と共に学習に取り組む授業や考える授業で自らも考える大切さを学んでいる事が子ども達に定着し、重点目標である『自ら考え学び合い、判断することができる児童を育てる』を学習の中で、実践しているからと考えられる。また、保護者の回答でもほとんどの項目が昨年度よりも高い数値であり、教職員の指導の賜物によっての高評価と考える。今後も、学校経営方針にあるように、一人一人の児童が尊重しあい、安心して学ぶことができる学校環境の実現を目指していただきたい。

2. 生活指導について（児童・保護者・地域）

児童の「私は、学校のきまりを守って、行動している」の肯定的意見が77.3%、保護者の「本校は、教員が指導した学校での過ごし方やルールについて子どもが理解している」の肯定的意見が71.4%と昨年度より少し下がってしまっているが、児童の「先生に注意されたことは理解できる」の肯定的意見が90.7%、保護者の「本校は教員が指導した学校での過ごし方やルールにつ

いて子どもが理解している」の肯定的意見が80.1%と高くなっているところから、引き続き学校のきまりについて理解していけるよう、さらなる指導を期待したい。

3. 学校行事（運動会・学芸会、学習発表会、宿泊行事など）について（児童・保護者・地域）

児童の学校行事に関する項目は、おおむね80%以上の児童が肯定的に捉えている。しかし「学校行事は達成感がある」の肯定的意見が82.3%と昨年度（91%）から下がってしまっている。コロナ禍の制限のある行事の取組から、制限のない取組になり、子ども達の中には戸惑ってしまっている事があるのかもしれないと考え、数値が下がった状況の背景を考えていただき、肯定的に捉える児童が増えるご指導を期待する。

ただ、保護者の「学校行事は、子どもにとって達成感がある」が93.6%「本校は、子どもの意欲を大切にしている」は84.9%と昨年度よりも5ポイント以上も上がっていることから、学校の行事に対する取組を見て、肯定的な数値となっていると思われる。また、地域の「学校行事が充実している」（90.5%）「事前の準備や当日の案内などで、地域への配慮がある」（100%）90%以上の高評価になっているため、学校の学校行事に対する保護者や地域への参加周知、地域への配慮が伝わっているとみられる。

4. キャリア教育について（児童・保護者・地域）

児童の「目標をもち、その実現に向けて努力している」の肯定的意見が80.7%と今年度も高い。昨年度とても低かった「自分の生き方や将来のことについて、考える授業がある」は、肯定的意見69.8%が昨年度（54.1%）よりも、かなり高くなっているため、昨年度の改善として、

『一人一人の児童理解に基づいたキャリア教育を推進する。』とした指導の成果であり、児童がキャリア教育の意味を理解してきていると考える。また、保護者も全体的に肯定的意見の数値が高くなっているため、さらなる児童への理解のご指導と保護者への取組の周知をお願いしたい。

5. 先生について（児童・保護者）

児童の「先生たちは丁寧に指導してくれている」が90%以上の肯定的意見、保護者も「本校は、丁寧に指導している」が85%以上になっている。全体的に肯定的な意見が高いのは、一人ひとりの児童が尊重し合い、安心して生活し学ぶ事ができる学校環境があるからと考える。しかし、児童の肯定的意見の内訳は、昨年度と比べると「とても思う」より「思う」の数値が高い。この逆転については、気にしていかないといけないと考える。

また、児童の「先生たちに相談できる」の項目の肯定的意見が70%以下となり、昨年度よりも低い。担任の忙しさや、コミュニケーション不足であるならば、学校経営方針にある、児童理解に基づいた学級経営の方法についての技術を身につける校内研修を充実させ、担任に相談できる環境になるように、実現を期待したい。また、学校全体としての担任のフォロー、保護者や児童の相談窓口の拡充に努めていただきたい。

保護者について「本校は子どもの事を相談しやすい」の肯定的意見が77.7%と比較的高い。しかし、教員が大変そう、相談する時間を取ってもらう事が憚れる。と感じている保護者も多いと考える。教員の環境が良くなるように、学校・保護者・地域がチームとしての協力体制を整えるための整備を願う。

6. 全般について（児童・保護者）

児童にとって一日の大半の生活の場である学校での生活について「学校生活が楽しい」「学校が好き」の肯定的意見が80%を越えている。保護者の項目でも「本校の学校生活は、子どもにとって楽しい」の肯定的意見が86.5%となっている。保護者項目「本校の教育活動に満足している」の肯定的意見が77.4%と高く、否定的な意見も昨年度よりも下がっている。「子どもは、体力の向上や健康な生活に取り組んでいる」の項目も72.7%と肯定的な意見が高い。学校という集団生活の中で、安心して学ぶ事ができている環境を学校が作れていると考える。より一層の有意義な学校環境を次年度も作れる様に取り組んでいただきたい。

7. 学校からの情報提供について（保護者・地域）

保護者項目「本校は、様々な便りなどで、保護者に情報を提供している」の肯定的意見が89.2%、地域項目「学校からのお知らせ（学校だより）などにより、学校の様子が分かる」の肯定的意見が95.2%と保護者も地域も高い。学校からの便りでの情報提供の成果がでていると考える。

また、保護者項目「本校は、学校公開や保護者会などで、児童の様子が分かる」の肯定的意見が91.6%地域項目「学校公開や道徳授業地区公開講座などで学校の様子が分かる」の肯定的意見が95.2%と高い。これも学校に足を運ぶ機会を増やし、様々な取組が通常に戻ってきているか

らと考える。

また、学校に目を向けてもらうには、保護者や地域に向けて様々な情報を周知していくことが大切であると考えます。これからも学校からの情報は随時、提供していただきたい。

8. 学校運営について（保護者）

保護者項目「本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている」の肯定的意見が70.1%であり、昨年度（78.2%）から低くなっている。少し残念である。HP上の重点目標の記載がわかり辛く、工夫が必要と考える。検討していただきたい。

また、「校長をはじめ教職員は、協力して教育活動に取り組んでいる」肯定的意見は、84.1%と比較的高い。校長先生、教職員のみなさんの真摯な姿勢が保護者に伝わっている結果であると考えられる。さらなる、取組を期待したい。

9. 家庭と学校との連携について（保護者）

「私は、今年度の学校重点目標を理解している」項目の肯定的意見が45.8%ととても低い、先の学校運営についても、「本校は、保護者に学校の重点目標を伝えている」の肯定的意見が昨年度より低くなっていることから、保護者の理解が進んでいないことがうかがえる。より、一層の周知理解への努力をお願いしたい。

また、「私は、学校公開にすすんで参加している」の肯定的意見86.5%に対し「私は、学校行事、PTAや地域主催の行事などにすすんで協力している」の肯定的意見は、61%である。保護者の中には、学校には保護者や地域の支えやフォローなど、まわりの力が必要では？と感じている方もいる一方で、積極的に参加できない保護者もいる。ただ、受動的な方が多いのであれば、PTAや地域として、保護者が学校と積極的に連携できるような場を設けるなどの取組を望む。

また、行事の活動が「わからない」との回答が昨年度より増えている。学校、保護者、地域の情報共有を根気よく続けていってほしい。

10. 地域との連携について（保護者・地域）

地域項目「学校協議会や合同学校協議会が役割を果たしている」「学校運営員会は活動を周知し、役割を果たしている」の肯定的意見が両方とも昨年度よりかなり高くなり70%を越えている。学校運営員会だよりや、学校からの周知で、少しずつ、知られていると考える。今後も、地域への報告や周知をお願いしたい。

また、学校以外の施設について、地域項目「地域の人や施設を教育活動に活かしている」の肯定的意見が85.7%と高いのに対し、保護者項目「本校は、地域の人や施設を教育活動に活かしている」の肯定的意見が64.3%と低い。これは、近くに児童館などの子どもたちのための施設が少なく、子どもや学校、地域と連携できる施設が少ないからと思われる。

11. 学校の安全性について（保護者・地域）

地域項目「学校は安心・安全な学校づくりを進めている」「学校は、安全性を高めようと地域と協力している」の二つの項目での肯定的意見が100%となっている。保護者項目でも「本校は、安全な学校づくりを進めている」の肯定的意見が87.5%「本校は、避難訓練やセーフティー教室などで、子どもたちに安全に関する指導をしている」の肯定的意見が92.2%と高い。また、「本校は、自然災害の対応を子どもや保護者に提供している」の肯定的項目が75.5%で高い数値が出ているが、昨今の大規模災害での状況をみるに、次年度は、肯定的意見がもっと高く出るよう学校の努力を望みます。

教員の自己評価について

教職員のみなさんの自己評価は、肯定的自己評価もありますが、とてもご自分たちに厳しくなっている項目も多く見受けられます。子どもたちや保護者は先生に対して肯定的な評価になっている事も多く、先生への信頼があるとみられるため、もう少し自己評価を高くしても良いと考えます。

「重点目標を日常の指導に取り入れている」での肯定的自己評価は69%となり、昨年度より低くなっている。学校の根幹である重点目標を教員がどのように捉えて子ども達を指導するか。が大事であるため、次年度はもっと自己評価が上がるよう、管理職と教員の努力を望みます。ただし、前記している、評価項目1.学習について（児童・保護者）については、児童も保護者も高評価である。

「スクールカウンセラーや特別支援教室との連携は良好である」の項目についても肯定的自己評価は83%と高くなっている。これは、児童や保護者としても心強い評価と考える。また、「教職員は、保護者からの相談には、いつも誠実に対応している」の項目は、肯定的自己評価が91%と高い。保

護者項目「本校は子どもの事を相談しやすい」での肯定的意見も高いことから、保護者の教員への信頼があると考えられる。

「児童に学校行事へ主体的な参加をさせている」についても肯定的自己評価は97%と高い。児童も保護者も学校行事への参加には比較的高評価である。

キャリア教育に関する項目「進路や職業に関する情報を児童に提供している」の肯定的自己評価が56%であり、昨年度の肯定的自己評価よりも高くなっている。「授業等で、子どもの生き方や将来のことについて考える場面を設けている」の項目も肯定的意見が74%と昨年度よりも評価が高い。児童項目も昨年度よりも肯定的意見が高く、学校や教職員の取り組みの成果で肯定的意見が増えていると考える。

「管理職は、教職員が働きやすい環境改善に向けて努力している」の肯定的評価が昨年度87%であるのに対し、35%と驚異的に低くなっている。全体的に児童や保護者が学校教育や先生方に対し、肯定的な評価が多く見られるため、管理職は教職員の働きやすい環境改善の努力と教職員は管理職との対話や理解を望む。